

2021年7月8日
ジャパンベストレスキューシステム株式会社

従業員の家庭教育を支援するための職場環境づくりを推進 名古屋市親学推進協力企業登録に関するお知らせ

親として成長する楽しさについて学ぶ「親学」を推進するCSR活動

総合生活トラブル解決サービスを展開するジャパンベストレスキューシステム株式会社(本社：名古屋市中区、代表取締役：榊原暢宏、東証一部：2453、以下当社)は、名古屋市教育委員会が実施する親学推進協力企業制度(以下、本制度)に登録したことをお知らせいたします。

背景

過去40年間でおよそ2倍に増えた共働き世帯等、社会構造の変化によって家庭に割かれる時間は減少傾向にあると言われます。2019年度に名古屋市が実施したアンケートでは、家庭の教育力低下を感じている市民は約7割に上りました。こうした背景を受けた名古屋市教育委員会の取り組みに、「困っている人を助ける」ことを経営理念とする当社は賛同し、本制度に登録しました。

本制度の概要



親学推進
協力企業

名古屋市教育委員会

本制度は保護者である従業員に対し「親学」にふれる機会を提供する企業(団体)を教育委員会が「親学推進協力企業」として登録するものです。

登録している企業(団体)は2020年12月時点で255に上り、名古屋市の公式ウェブサイトにて名称を掲載されています。また中学生以下の子どもと一緒に利用できる観光・文化施設の優待割引券の配布を受けられます。

<アクションプラン 8項目>

- | | |
|---------------|------------------|
| ①親学を学ぼう！ | ⑤子どもの記念日に本を贈ろう！ |
| ②親子で体験しよう！ | ⑥地域の行事に親子で参加しよう！ |
| ③学校へ行こう！ | ⑦子どもに仕事を見せよう！ |
| ④家族一緒に食事をしよう！ | ⑧企業からの独自提案 |

本制度が掲げるアクションプランの内、当社では業務効率化により従業員の残業時間圧縮に継続的に取り組み、④家族一緒に食事をしよう！等に貢献することで、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぼうとする「親学」にふれる機会を創出します。

CSR 活動の取り組み

当社では本制度の他にも様々な形で地域社会に貢献することで、持続的な企業価値の向上に取り組んでおります。例えば社内に設置された自動販売機の売上の一部を、捨てられたペットの殺処分ゼロを目指し保護活動を展開する慈善団体へ寄付する等、全従業員が貢献を自覚できる活動に注力しています。

また当社は「職業・社会体験を通じて、こども達に生きる力を育む」というキッズニアの基本理念に賛同し、キッズニア東京・甲子園に「クライミングビルディング」というパビリオンを出展しております。キッズニアのオフィシャルスポンサーでもある当社は、毎年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様に対して、保有株数に関係なくキッズニア優待券を1枚贈呈しております。



会社概要

■ JBR 会社概要

会社名： ジャパンベストレスキューシステム株式会社

代表者： 代表取締役 榊原 暢宏

所在地： 名古屋市中区錦 1-10-20 アーバンネット伏見ビル 5F

設立： 1997年2月

URL： <https://www.jbr.co.jp/> (コーポレートサイト)

<https://sq.jbr.co.jp/> (サービスサイト)

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

ジャパンベストレスキューシステム株式会社

担当： CSR 統括部門(総務チーム 福島・柴田)

TEL： 052-212-9915 E-Mail： ga-soumu@jbr.co.jp